

2020年度まちづくりネットモニター第1回調査結果  
テーマ「SDGs（エスディーゼズ）の関心度について」



SDGsとは、深刻化する地球上の問題を、2030年までにより良くするために、国連で貧困、教育、気候変動など17のゴールと169のより具体的な目標(ターゲット)に集約した世界共通の目標です。郡山市は県内唯一の「SDGs未来都市」として、様々な分野の人・情報・研究成果などが行き交う「知の結節点」としての強みを生かし、こおりやま広域圏に住むすべての方が「自分ごと」として将来世代のために行動できるように取り組んでいます。

SDGsについて皆さんの認知度・関心度を把握するとともに、今後の取り組みの参考とするため、昨年度に引き続きアンケートを実施しましたので、その結果についてお知らせします。

(政策開発課)

【調査概要】

- 調査期間 令和2年5月15日(金)～5月24日(日) 10日間
- 回答方法 専用ウェブサイトから回答を返信
- モニター数 360名 (男性 172名 女性 188名)
- 回答者数 335名 (男性 159名 女性 176名)
- 回答率 93.1%



郡山市ウェブサイト  
SDGs未来都市こおりやま

【分析】

《回答者内訳》

年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男性	7	6	16	31	32	17	42	8	159
女性	11	10	42	55	40	15	2	1	176
合計	18	16	58	86	72	32	44	9	335

《SDGsの認知度》

37.9%が知っている、27.8%が聞いたことはある、34.3%が全く知らないと回答。  
前回調査(2019年)と比較し、認知度(知っている)は26.4ポイント高まっている。

《SDGsの関心度》

46.9%が非常に関心がある又は関心がある、32.9%があまり関心がない又は全く関心がない、20.3%が分からないと回答。

前回調査(2019年)と比較し、関心度(非常に関心がある、関心があるの合計)は11.2ポイント高まっている。

《SDGsを知らない人への周知に効果的な媒体》

38.2%がテレビ、17.0%が市の広報、15.5%がソーシャルメディア、11.6%が新聞、10.1%がウェブサイトと回答

《特に大切だと思う目標》(1人3つまで選択)

「③すべての人に健康と福祉を」が最多回答(50.7%)

【考察】

・SDGsの認知度は前回調査(2019年)と比べ大幅に上昇しており、周知・PRの効果が現れていると考えられる。一方で関心がない人も一定数いることから、これまでの周知に加え、関心がない人への興味を喚起する効果的な周知・PRを行っていく必要がある。

・年代別で認知度が高いのは10代。学校の授業や図書館などでSDGsを学ぶ機会があることが要因だと考えられる。一方で30代、40代では認知度が低い。働き盛りで子育て世代の30～40代をターゲットにしたアプローチをより一層強化しさらなる認知度向上を図る必要がある。具体的には、こおりやまSDGsアワードを通じて、企業等と連携して認知度向上を図っていく必要がある。

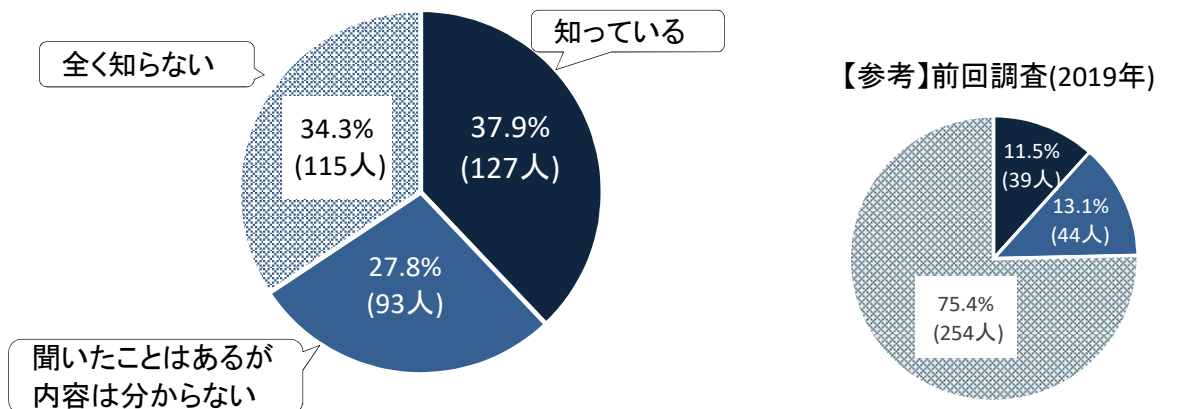
・SDGsは「分かりにくい」「イメージできない」といった意見が多くみられたことから、SDGsをシンプルに身近に具体的に感じるられるよう、YouTubeを活用した配信、広報こおりやまを活用した更なる周知・取り組みが必要である。

※構成比は、端数を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります

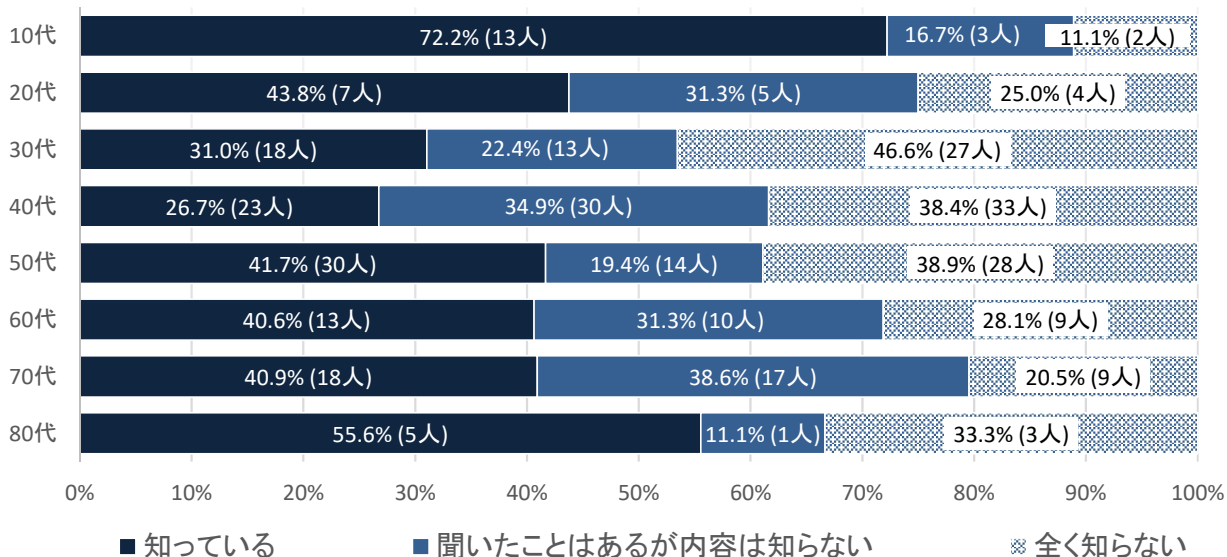
## 第1章 SDGsの認知度について

### 問1 SDGs（エスディーゼーズ）をご存知ですか？（1つ選択）

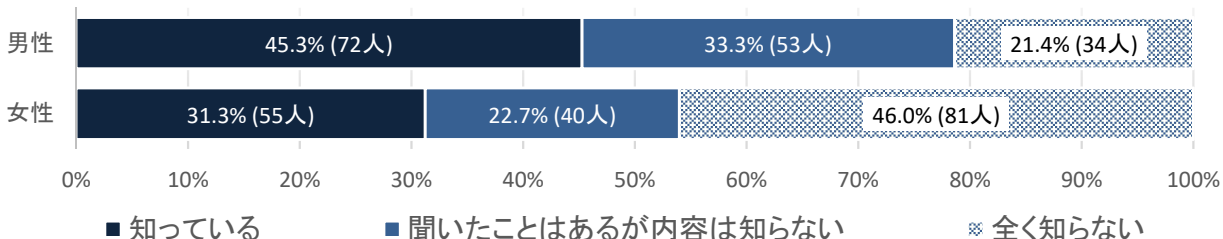
（回答者：335人）



#### 年代別

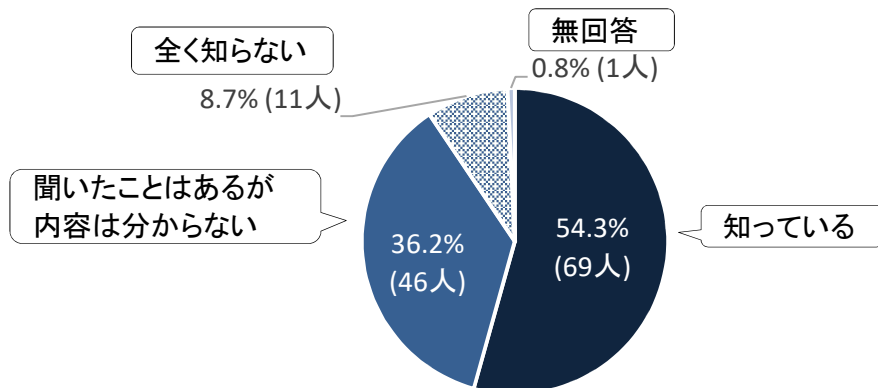


#### 男女別

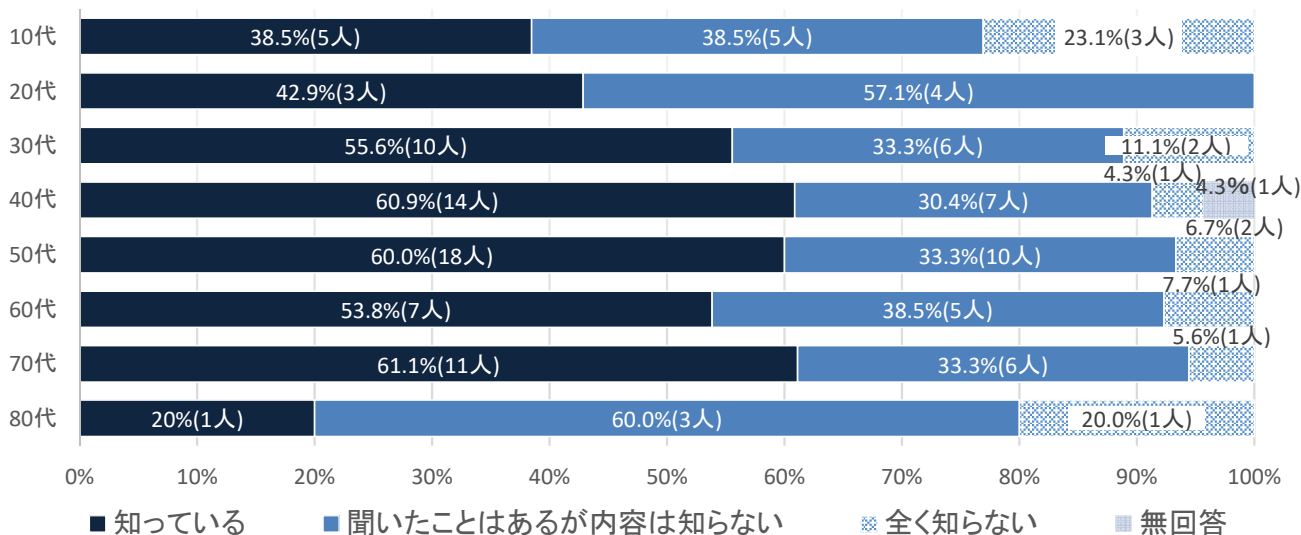


SDGsの認知度について、「知っている」と答えた割合は全体の37.9%。前回調査と比べると、認知度(知っている)は26.4ポイント高まっている。  
 年代別では、10代の認知度が72.2%で最も高く、40代の認知度が26.7%で最も低い。「全く知らない」割合が最も高いのは30代で46.6%、次に高いのが50代の38.9%となっている。  
 男女別では、男性の認知度が女性より高い。

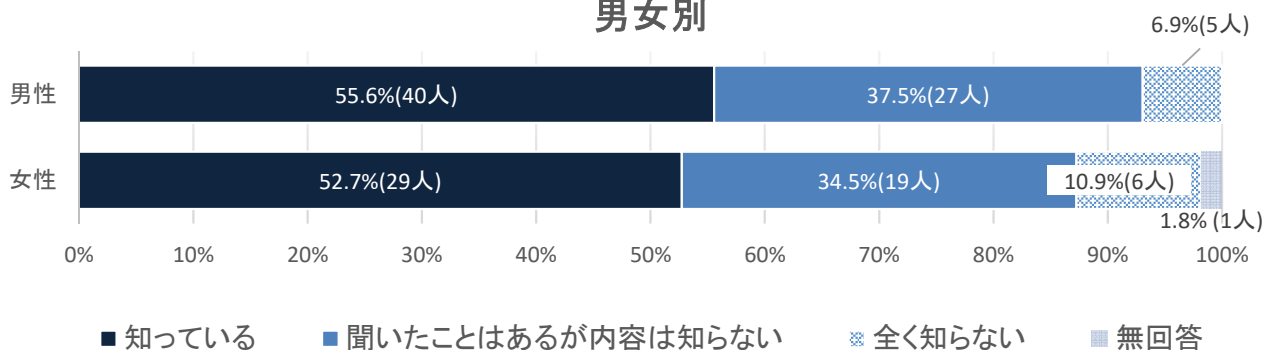
問2 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。  
 2015年に国連で採択された国連のSDGsの取り組みをご存知ですか？  
 (1つ選択) (回答者：127人)



### 年代別

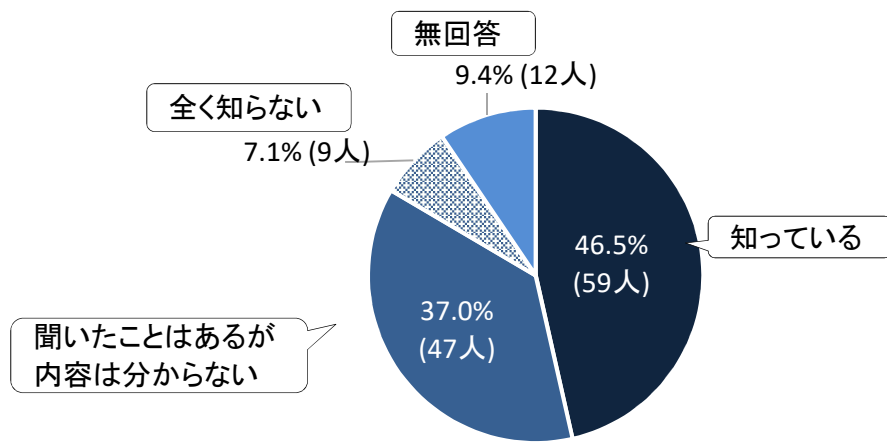


### 男女別

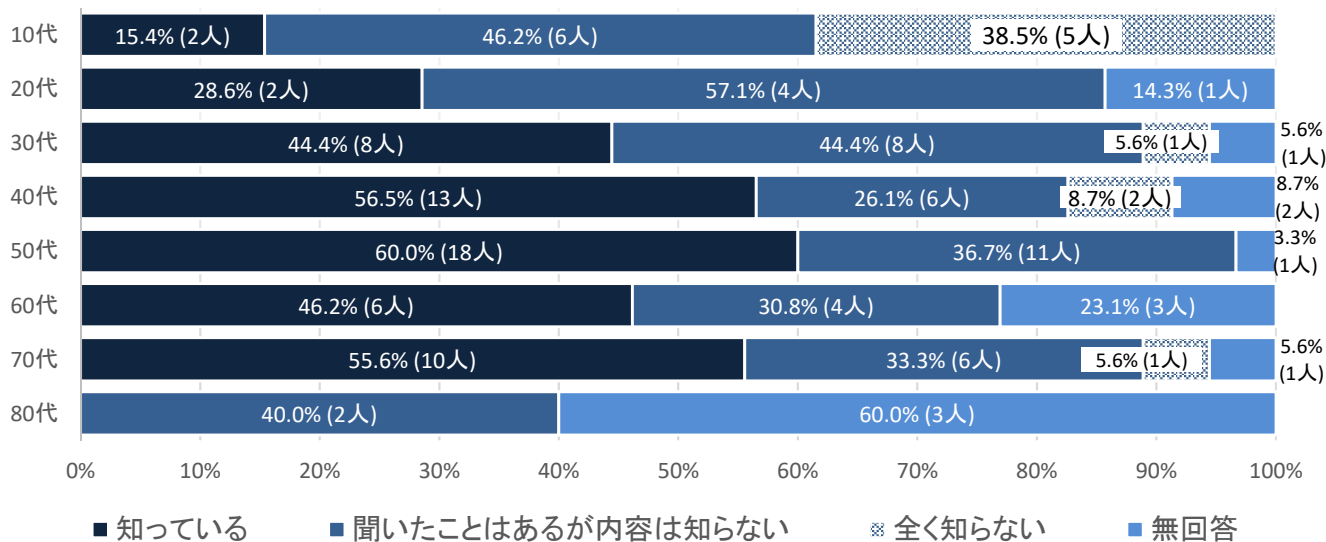


国連のSDGsの取り組みの認知度について、年代別では、70代、40代、50代の順に「知っている」と答えた割合が高い。  
 男女別では、男性の認知度が女性より高い。

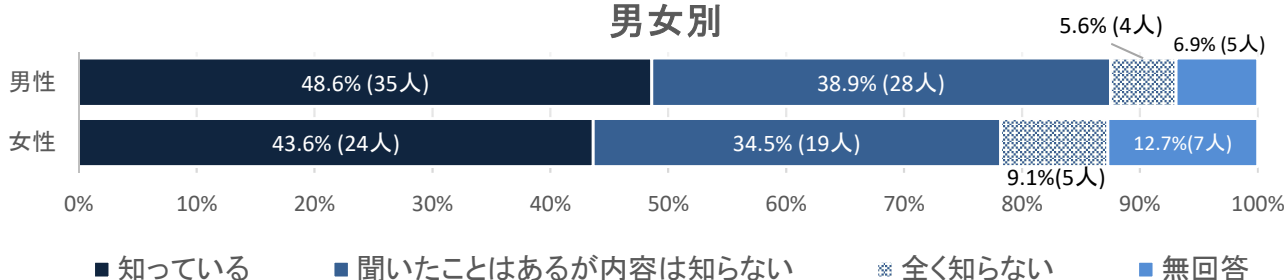
問3 問1で「知っている」を選択した方にお伺いします。  
 国(SDGs推進本部)で進めているSDGsの取り組みをご存知ですか？  
 (1つ選択) (回答者：127人)



年代別



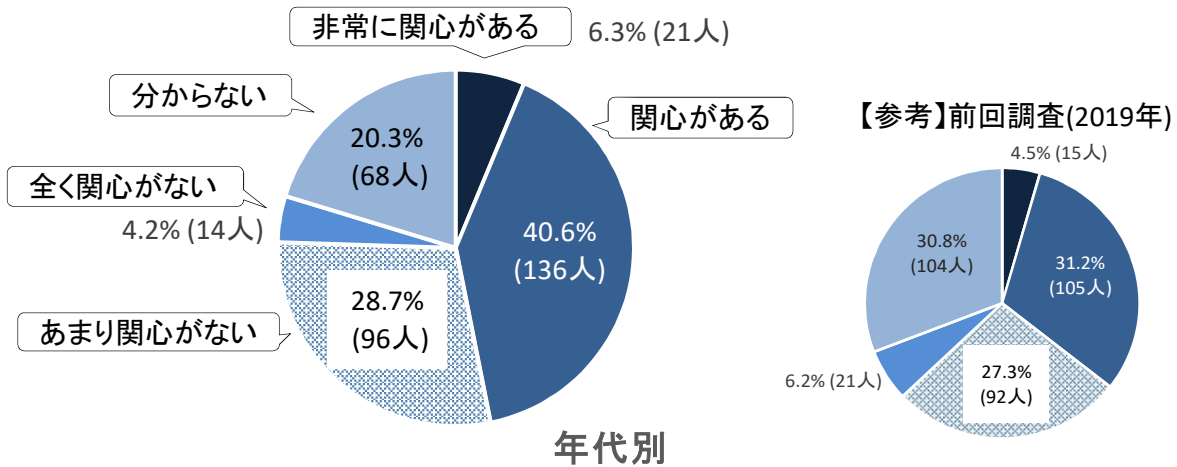
男女別



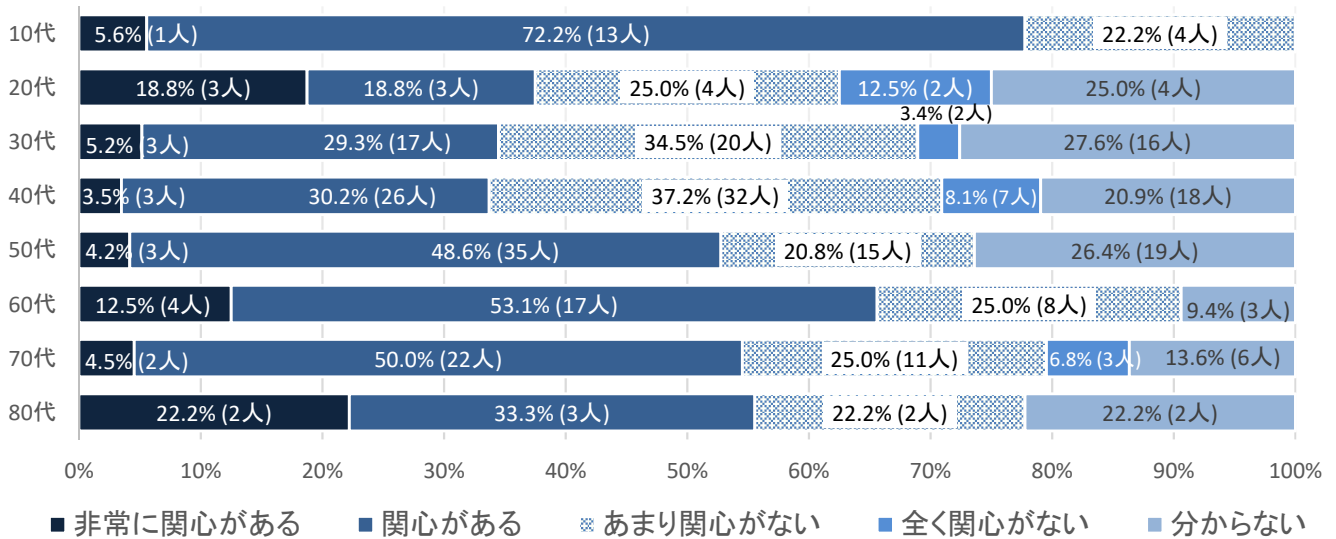
国のSDGsの取り組みの認知度について、年代別で見ると、「知っている」と答えた割合は、50代、40代では60.0%、56.5%と高い。一方で、10代、20代は「知っている」と答えた割合は15.4%、28.6%と低くなっている。  
 男女別では、「知っている」と答えた割合は男性の方が高くなっている。

問4 SDGsについてどの程度関心がありますか？（1つ選択）

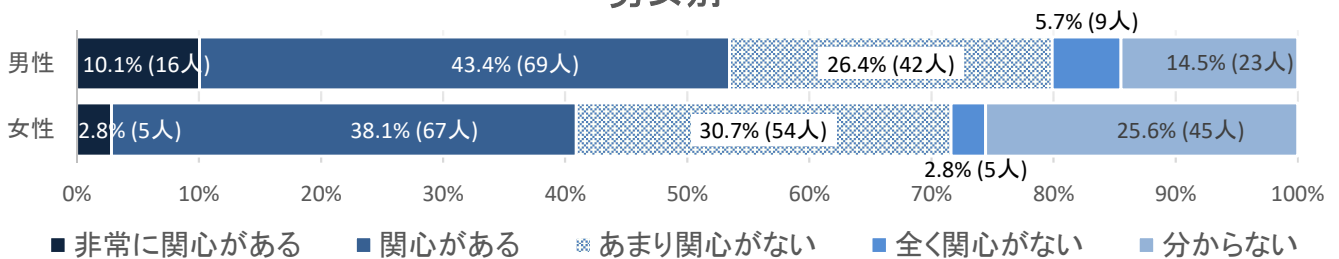
（回答者：335人）



年代別



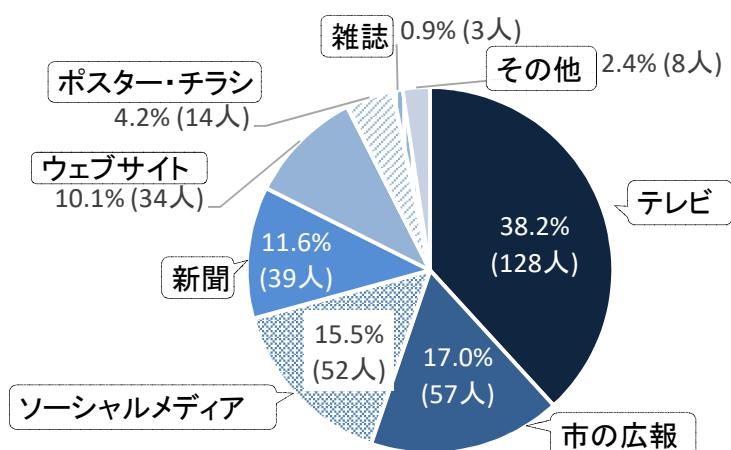
男女別



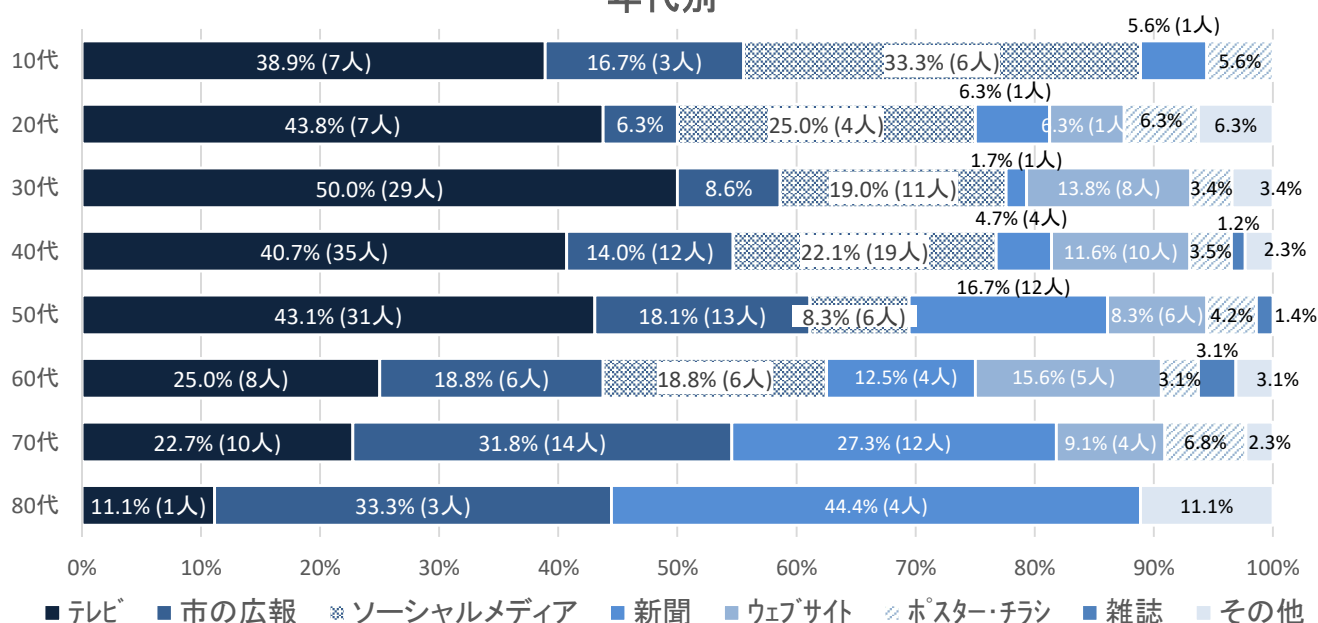
全体では、「非常に関心がある」と「関心がある」の割合は計46.9%、「あまり関心がない」と「全く関心がない」の割合は計32.9%。「分からない」は20.3%となっている。前回調査と比べ、関心度(非常に関心がある、関心があるの合計)は11.2ポイント高まっている。  
 年代別では、10代で関心度が高い。一方で20代、30代、40代では「あまり関心がない」「全く関心がない」「分からない」が6割以上を占めており、関心度は低い。  
 男女別でみると、関心がある割合は、女性に比べ男性が高い。

問5 SDGsを知らない方に対し、どのような媒体が最も効果的だと思いますか？  
(1つ選択)

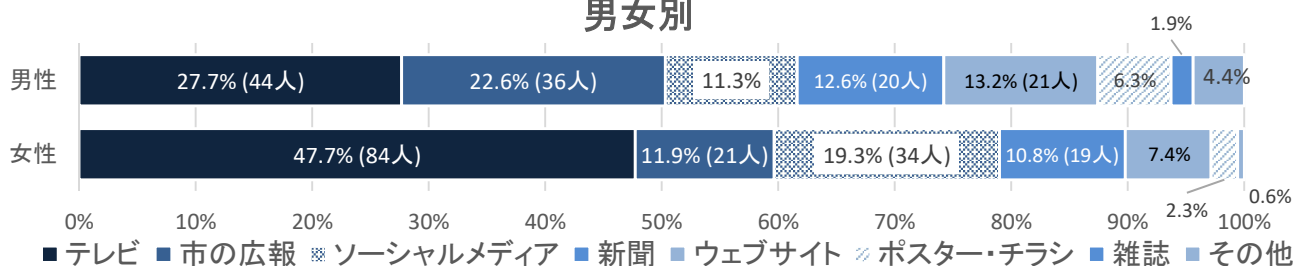
(回答者：335人)



年代別



男女別



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・どの世代に向けたものでどういった周知をしたいのかによって媒体が変わる
- ・情報媒体が多様化しているので、幅広く周知が必要

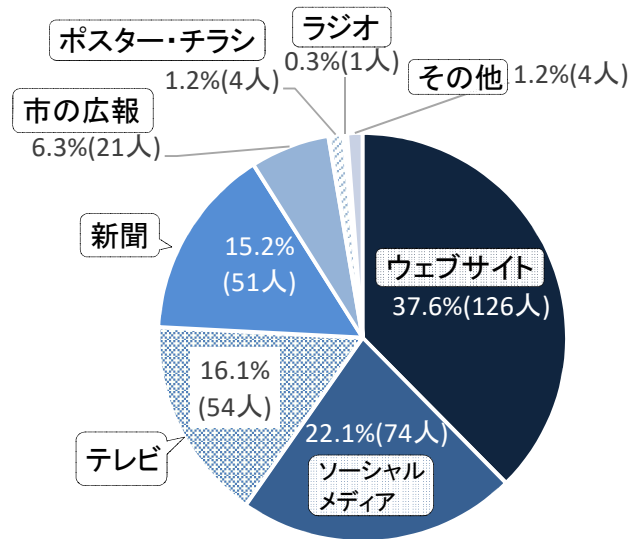
全体では、「テレビ」の割合が38.2%と最も高く、次いで「市の広報」17.0%、「ソーシャルメディア」15.5%となっている。

年代別では、10代、20代は「ソーシャルメディア」の割合が33.3%、25.0%と比較的高い。70代、80代では「市の広報」が31.8%、33.3%、「新聞」が27.3%、44.4%と比較的高い割合を占めている。

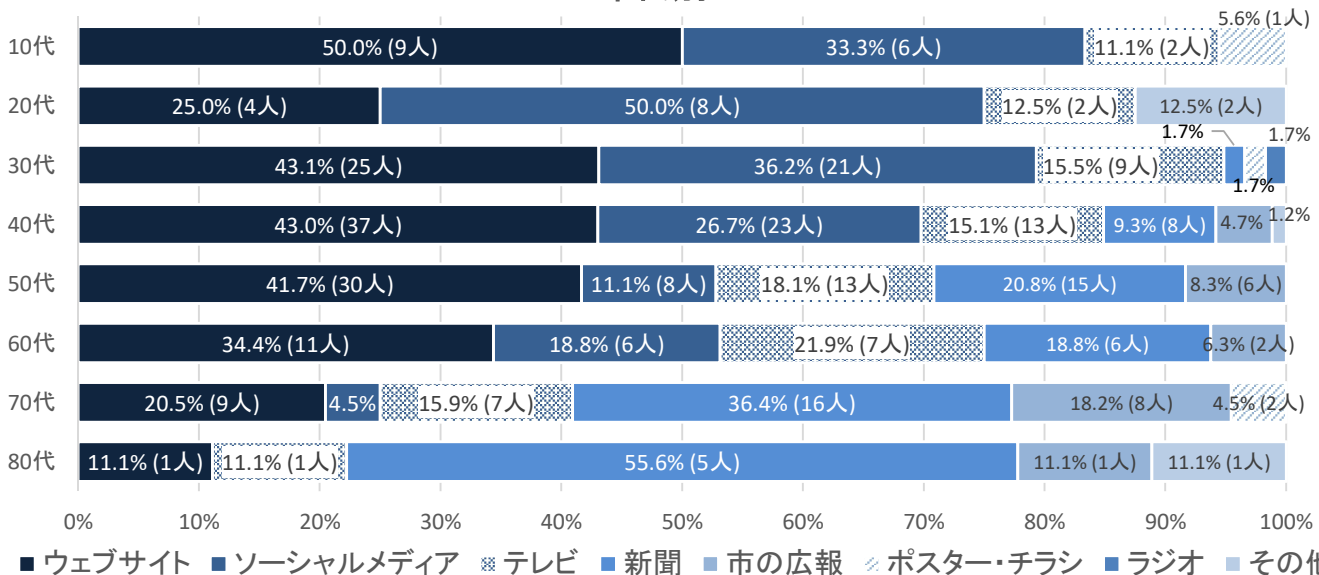
男女別で見ると、女性は、男性に比べ「テレビ」「ソーシャルメディア」の割合が高い。男性は、女性に比べ「市の広報」の割合が高い。

問6 情報収集をする方法はどのような媒体が一番多いですか？（1つ選択）

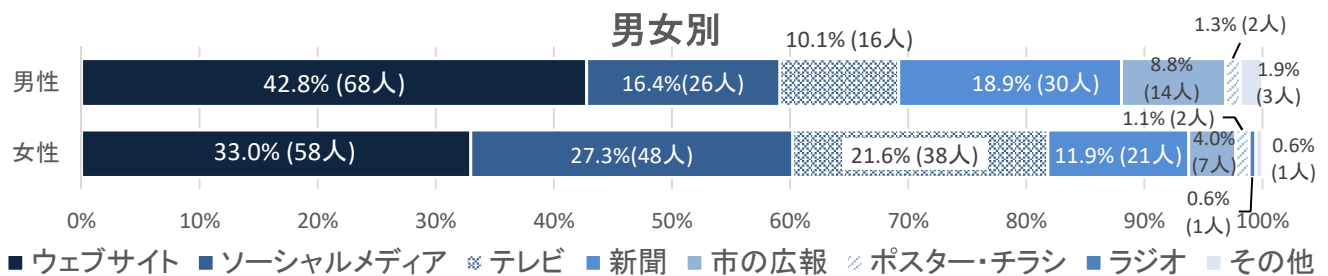
（回答者：335人）



年代別



男女別



全体では「ウェブサイト」が37.6%で最も高く、「ソーシャルメディア」22.1%、「テレビ」16.1%と続いている。年代別では、若年層で「ソーシャルメディア」の割合が高い。年齢が上がるにつれて、「新聞」の割合が高くなっている。若年層ではデジタル媒体、高齢層では紙媒体を主な情報収集に使用していることが分かる。

男女別でみると、女性は「テレビ」「ソーシャルメディア」の割合が男性に比べて高く、男性は「ウェブサイト」「新聞」の割合が女性に比べて高い。

問7 SDGsの17の目標のうち、特に大切だと思う（関心がある）目標はなんですか？  
（3つ選択）

（回答者：335人）

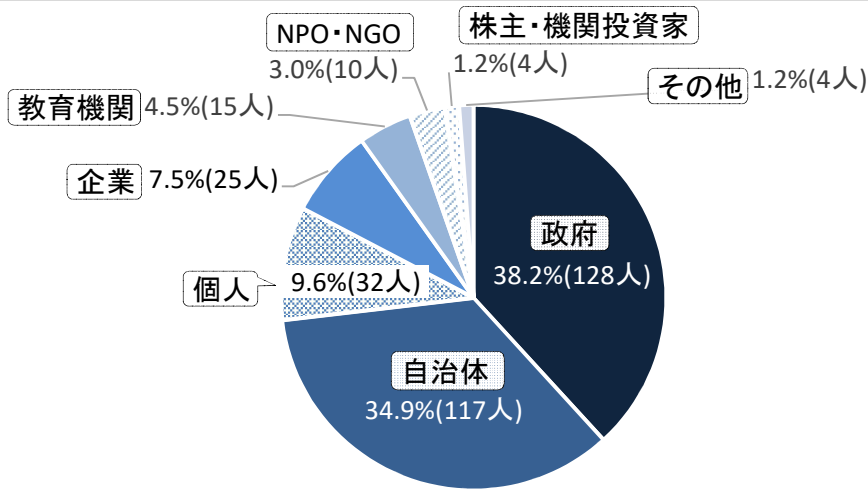


回答者の2人に1人(50.7%)が「③すべての人に健康と福祉を」を選択している。続いて「⑪住み続けられるまちづくりを」32.8%、「④質の高い教育をみんなに」27.2%となっている。

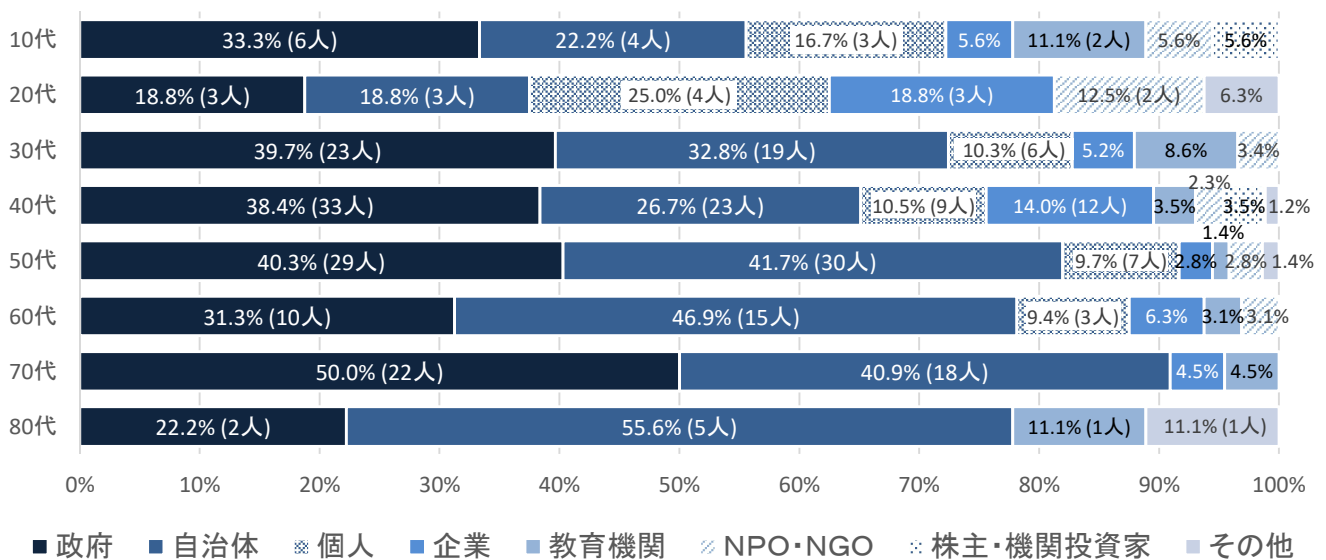


## 第2章 SDGsに関する取り組みについて

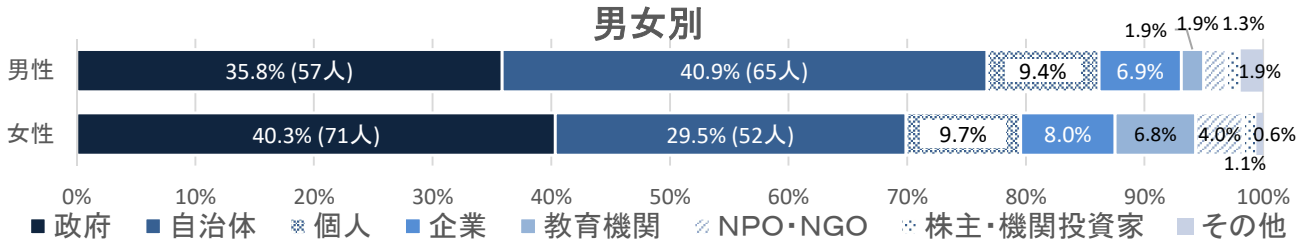
問8 SDGsの達成に向けて、誰が主に行動したほうが良いと思いますか？（1つ選択）  
（回答者：335人）



### 年代別



### 男女別



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・国家をはじめ、企業、個人すべての人
- ・わからない

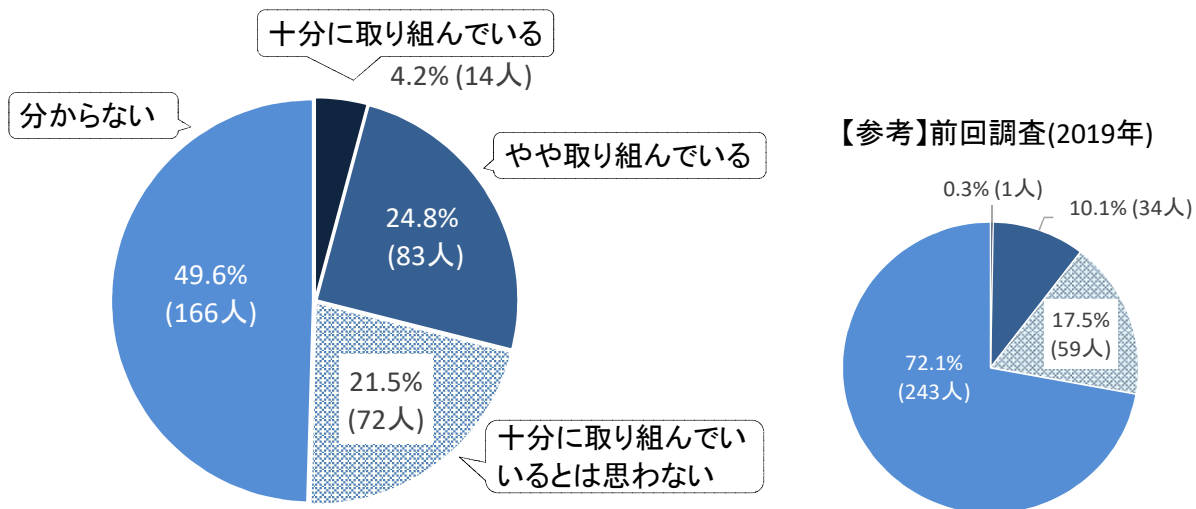
全体では、「政府」の割合が38.2%で最も高く、「政府」「自治体」で7割以上を占めている。

年代別でみると、10代、20代では「政府」が33.3%、18.8%、「自治体」が22.4%、18.8%と他の年齢層と比べ割合が低く、「個人」が16.7%、25.0%と他の年齢層と比べ割合が高い。

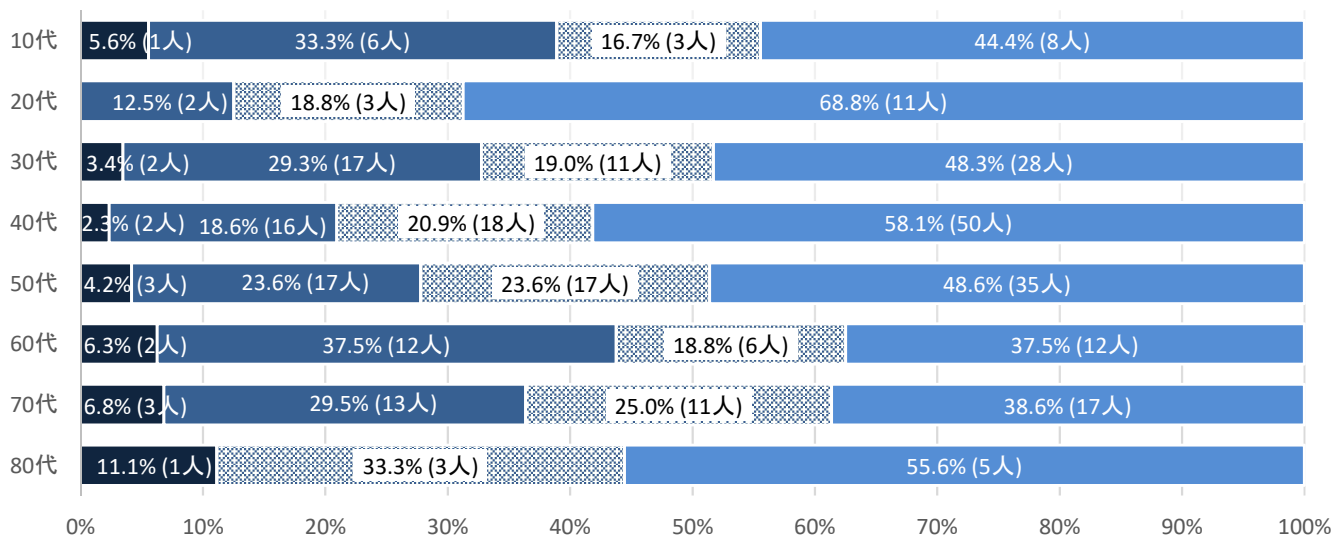
男女別でみると、大きな違いはないが、「自治体」の割合が男性は女性に比べ高い。

問9 郡山市のSDGsへの取り組みについてはどう思いますか？（1つ選択）

（回答者：335人）

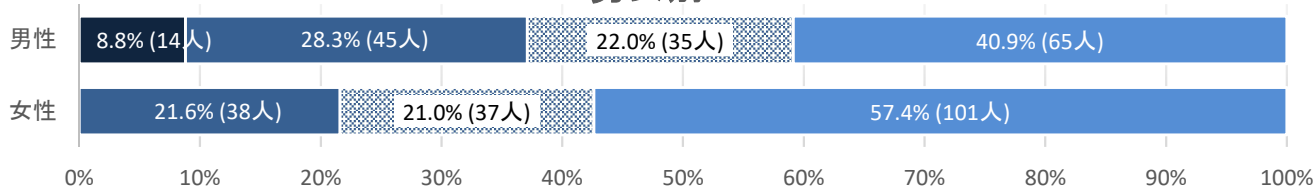


年代別



■ 十分にに取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分にに取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

男女別



■ 十分にに取り組んでいる ■ やや取り組んでいる ※ 十分にに取り組んでいるとは思わない ■ 分からない

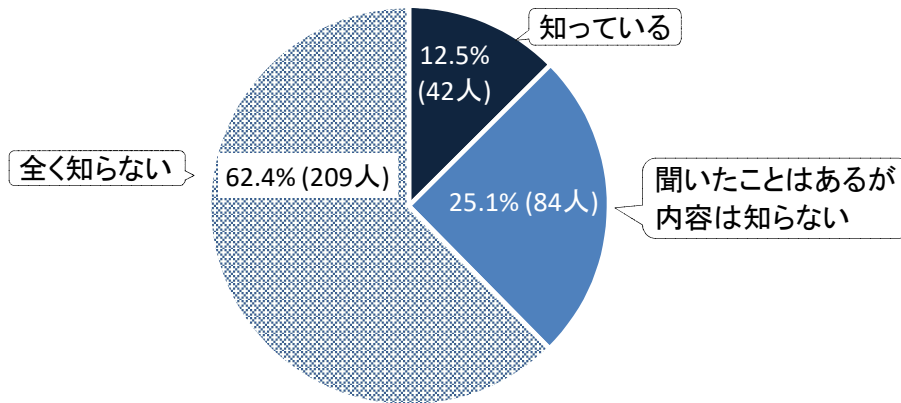
全体では「分からない」が最も多く約半数(49.6%)を占めている。「十分にに取り組んでいる」と「やや取り組んでいる」を合わせると29.0%で、「十分にに取り組んでいるとは思わない」の21.5%を上回っている。前回調査と比べ、「十分にに取り組んでいる」と「やや取り組んでいる」の合計は18.6ポイント高まっている。

年代別でみると、20代で「分からない」と回答した割合が高い。

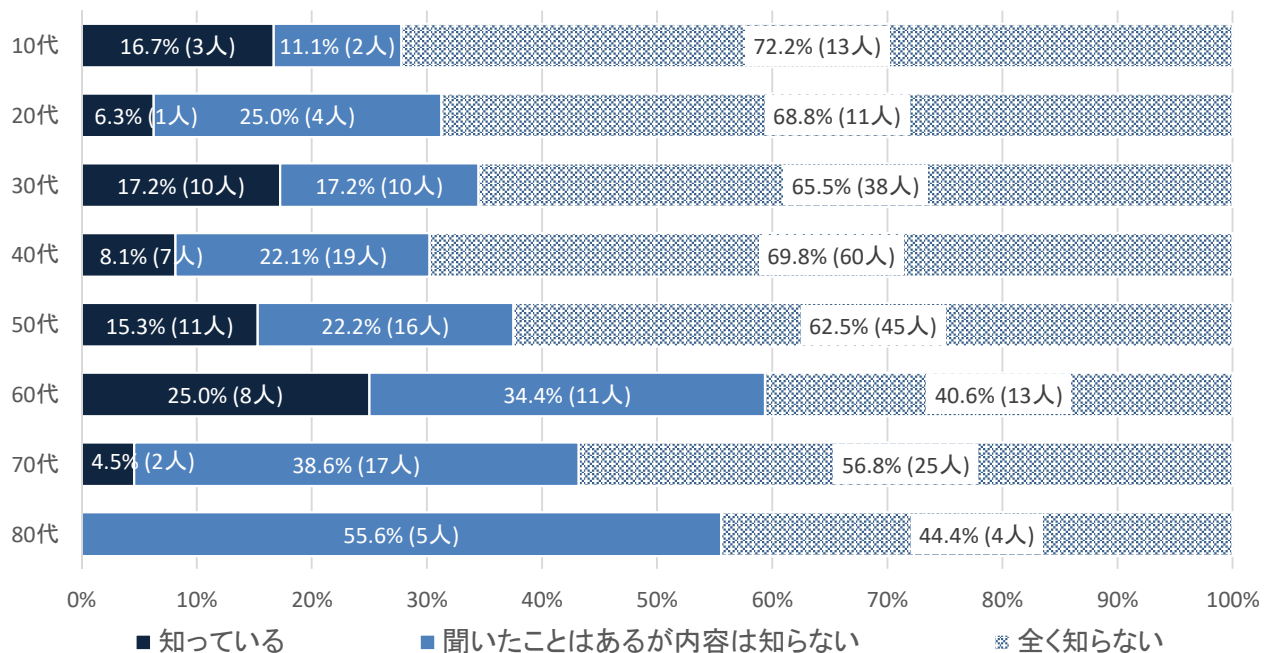
男女別でみると、「分からない」と回答した割合は男性に比べ女性が高くなっている。

問10 こおりやま広域圏において、「SDGs体感未来都市」の実現に向け、特に優れた取り組みを進めている市民、団体等を表彰する「こおりやまSDGsアワード」をご存知ですか？  
（1つ選択）

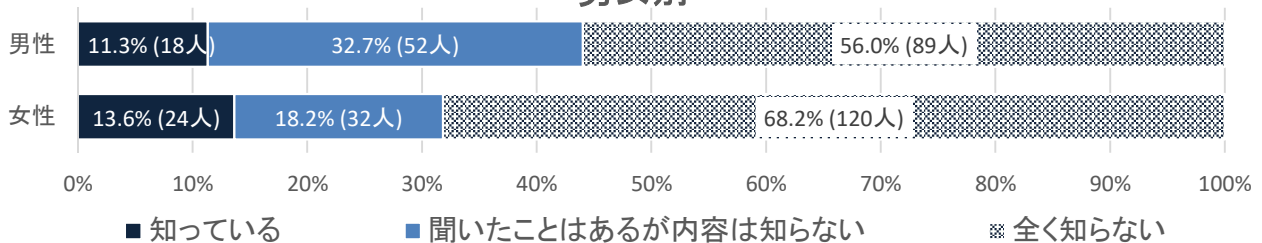
（回答者：335人）



### 年代別



### 男女別

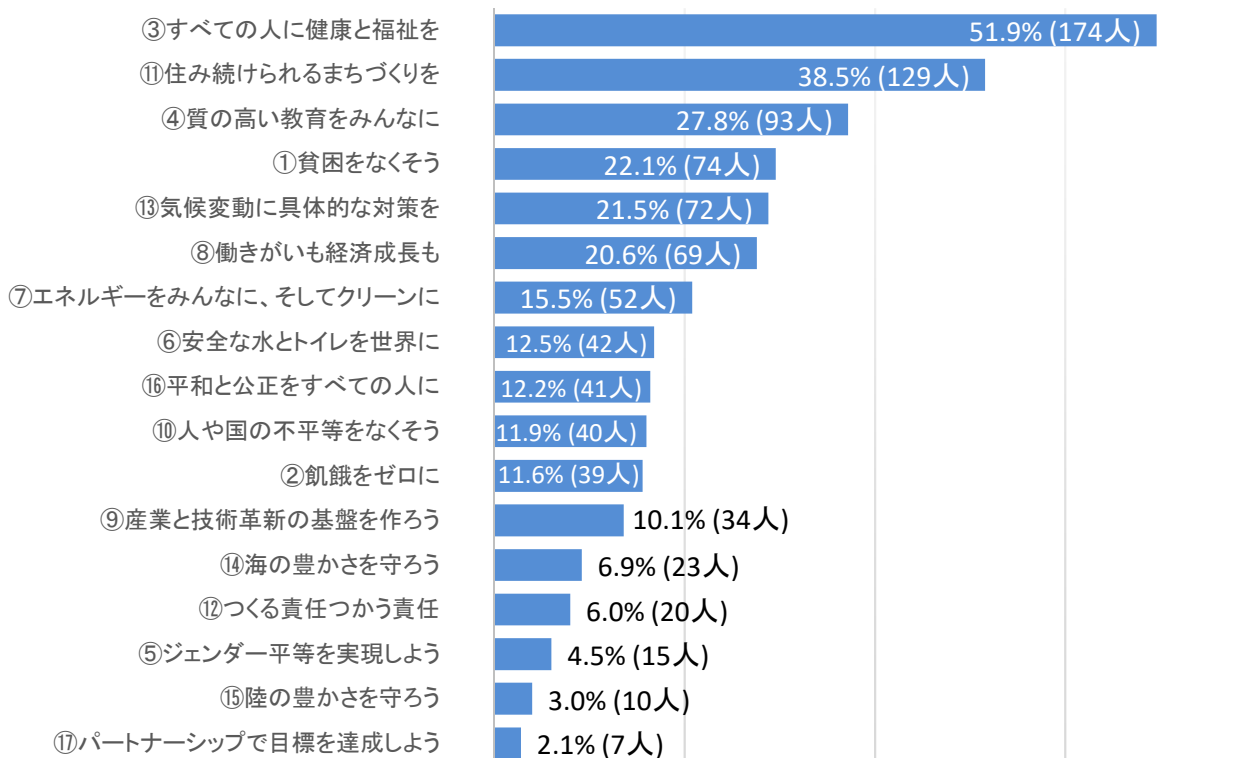


62.4%が「全く知らない」と回答。「知っている」割合は12.5%、「聞いたことはあるが内容は知らない」が25.1%。

年代別で見ると、60代の認知度が高い。10代、20代の若年層では「全く知らない」割合が高く、70代、80代の高齢層では「聞いたことはあるが内容は知らない」割合が高い。

問11 SDGsの17の目標のうち特に取り組んで欲しいと思う目標は何ですか？  
(3つ選択)

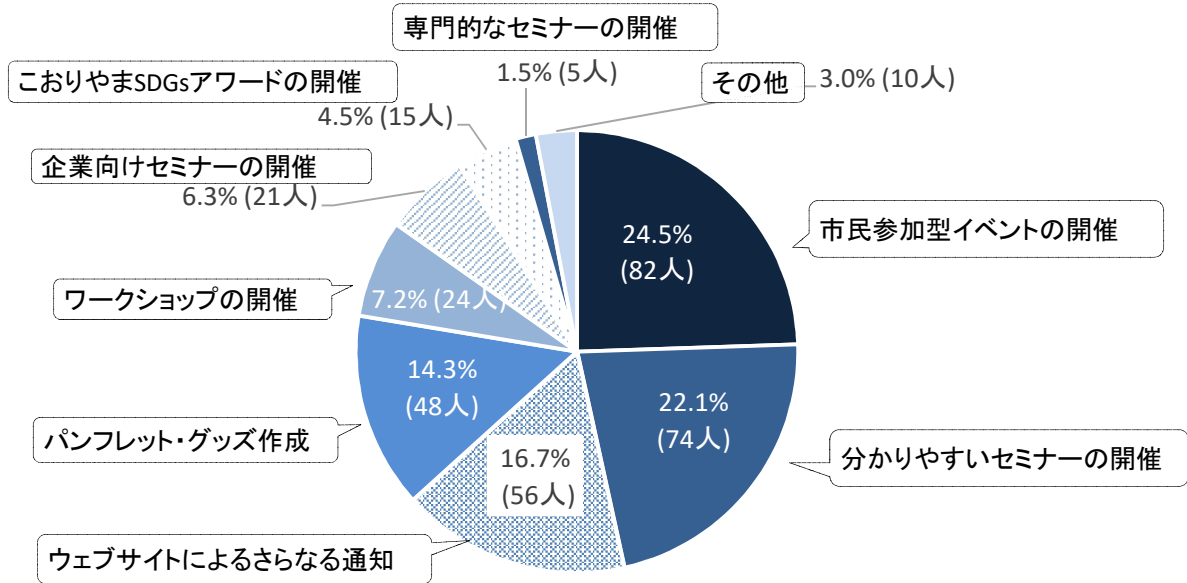
(回答者：335人)



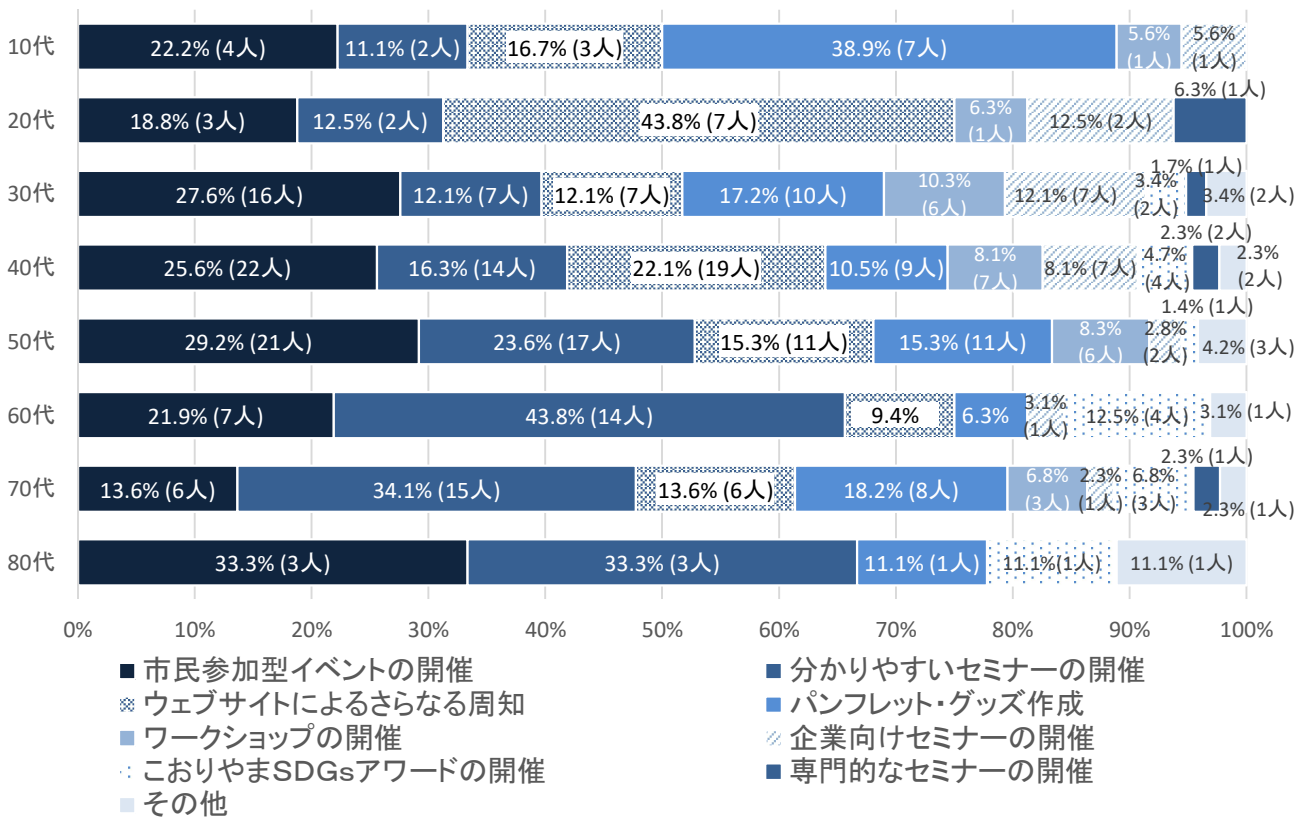
「③すべての人に健康と福祉を」が51.9%と最多で回答者の2人に1人が選択している。続いて「⑪住み続けられるまちづくりを」38.5%、「④質の高い教育をみんなに」27.8%となっている。

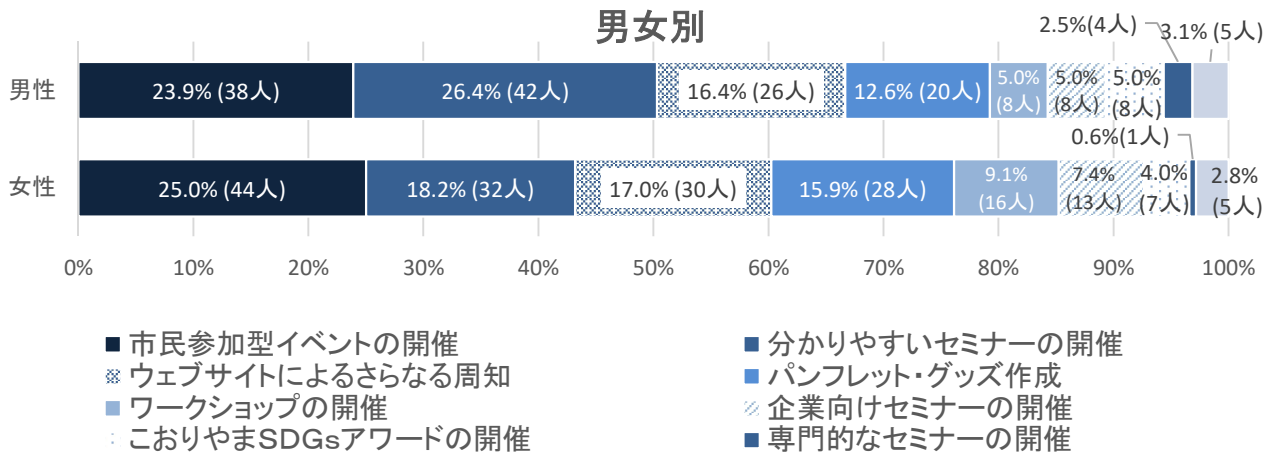
問 12 SDGsの達成に向けて、郡山市に特に取り組んで欲しいことは何ですか？  
(1つ選択)

(回答者：335人)



年代別





※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・ 「企業、個人が積極的に取り組めるようになるための支援、法律の整備」
- ・ 「学校の授業などでの取扱い」
- ・ 「広報こおりやまで、取り組み等市民に分かりやすく教えてほしい」

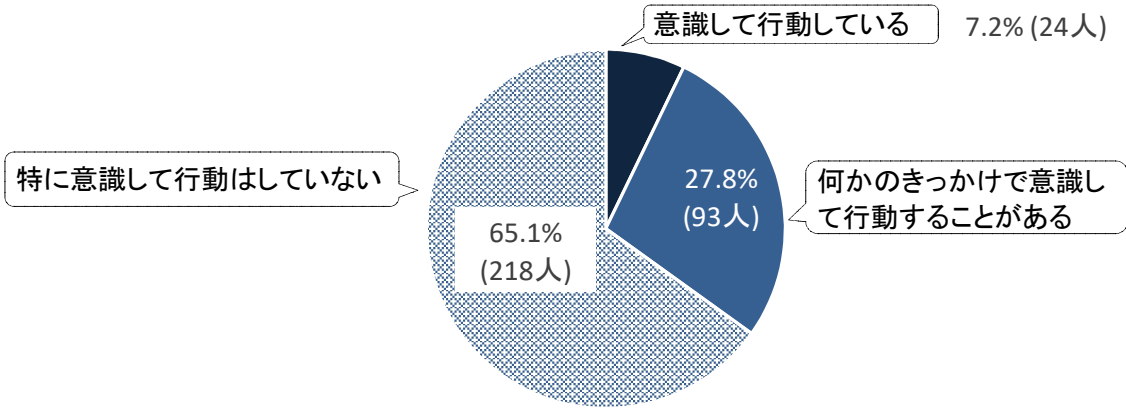
「市民参加型イベントの開催」が24.5%で最も多い回答。次いで、「分かりやすいセミナーの開催」「ウェブサイトによるさらなる周知」となっている。

年代別でみると、10代の最多は「パンフレット・グッズ作成」、20代の最多は「ウェブサイトによるさらなる周知」と若年層ではPR、情報発信関係の割合が高い。

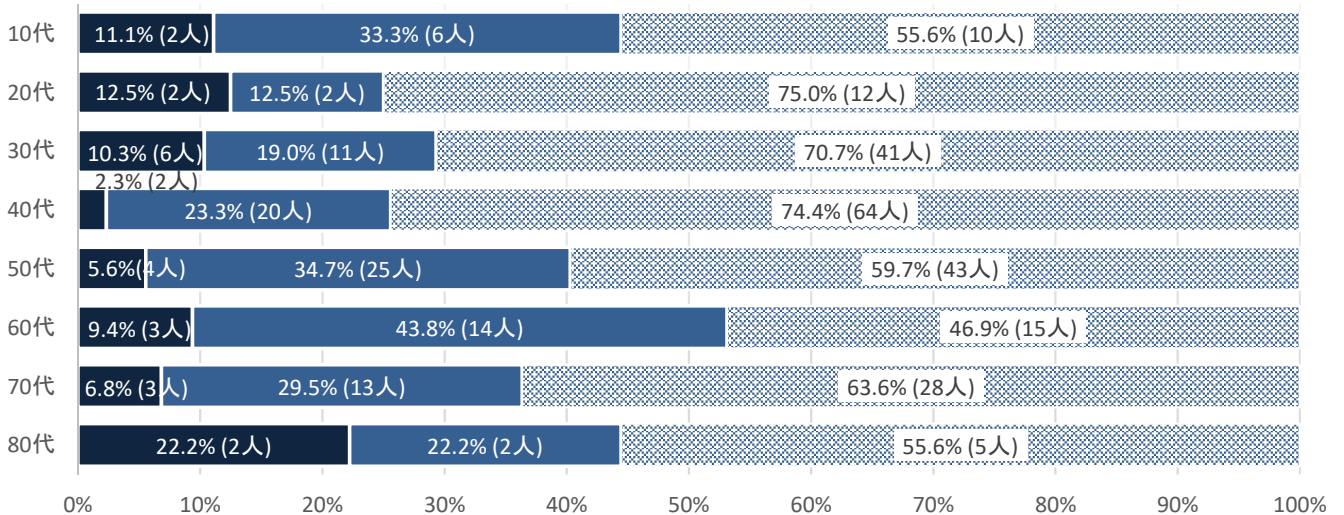
一方で、60代以上の高齢層では「わかりやすいセミナーの開催」が最も高くなっており、若年層と高齢層で違いがみられる。

### 第3章 みんなの取り組みについて

問13 日常生活においてSDGsを意識して行動していますか？（1つ選択）（回答者：335人）

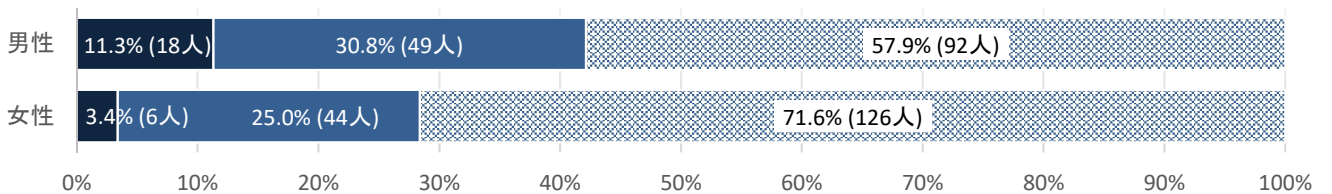


#### 年代別



■ 意識して行動している ■ 何かのきっかけで意識して行動することがある ※ 特に意識して行動はしていない

#### 男女別



■ 意識して行動している ■ 何かのきっかけで意識して行動することがある ※ 特に意識して行動はしていない

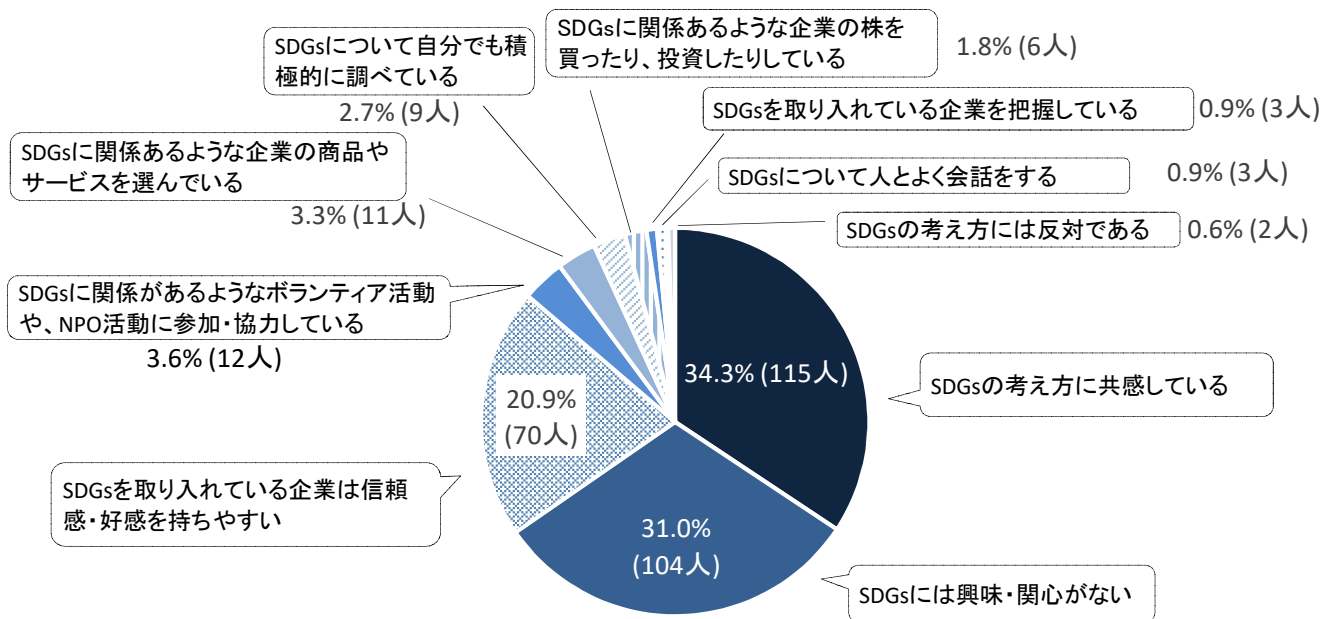
全体の65.1%が「特に意識して行動はしていない」と回答。「何かのきっかけで意識して行動することがある」は27.8%、「意識して行動している」は7.2%。

年代別でみると、20代～40代の働き盛りの世代で「特に意識して行動はしていない」の割合が高い。

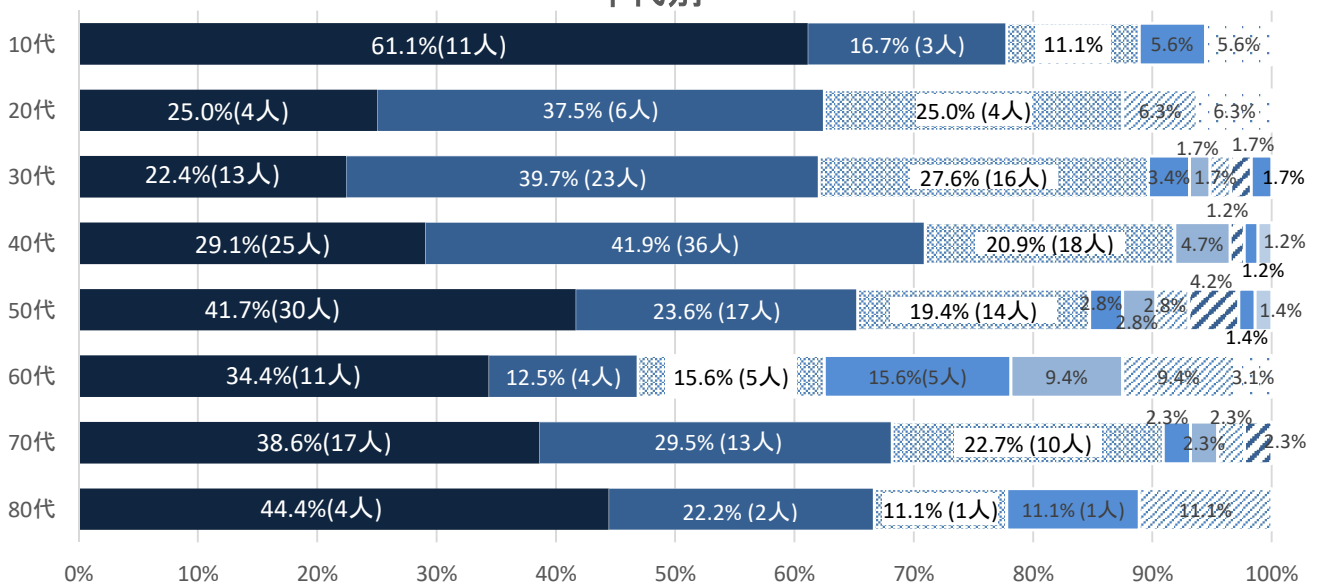
男女別では、女性が男性に比べ「特に意識して行動はしていない」の割合が高い。

問 14 あなたとSDGsの関わりについて、特にあてはまるものは何ですか？(1つ選択)

(回答者：335人)



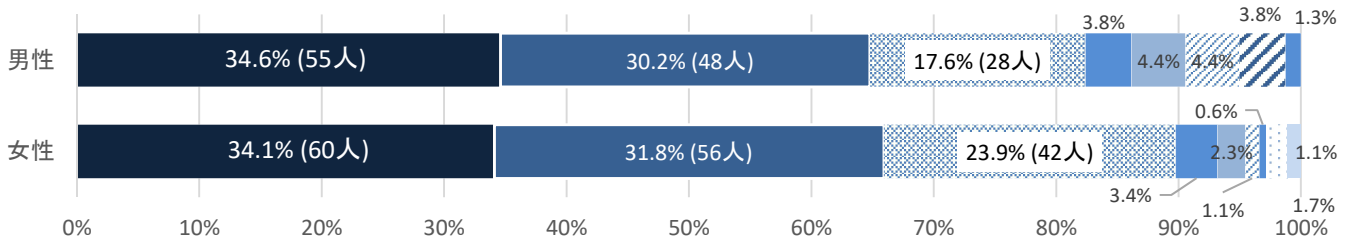
年代別



- SDGsの考え方に共感している
- SDGsには興味・関心がない
- ※ SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- SDGsに関係があるような企業の商品やサービスを選んでいる
- ※ SDGsについて自分でも積極的に調べている
- ※ SDGsに関係があるような企業の株を買ったり、投資したりしている
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- ・ SDGsについて人によく会話をする
- SDGsの考え方には反対である



## 男女別

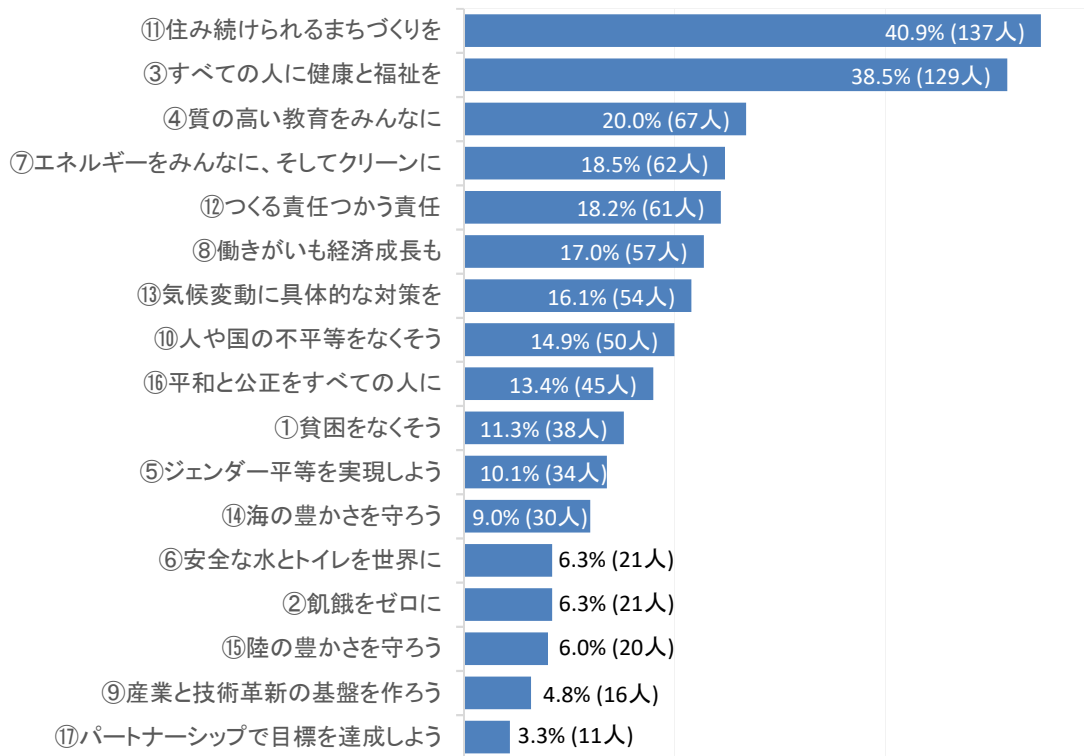


- SDGsの考え方に共感している
- SDGsには興味・関心がない
- ※ SDGsを取り入れている企業には信頼感・好感を持ちやすい
- SDGsに関係があるようなボランティア活動や、NPO活動に参加・協力している
- SDGsに関係あるような企業の商品やサービスを選んでいる
- ※ SDGsについて自分でも積極的に調べている
- ※ SDGsに関係あるような企業の株を買ったり、投資したりしている
- SDGsを取り入れている企業を把握している
- ※ SDGsについて人とよく会話をする
- SDGsの考え方には反対である

「SDGsの考え方に共感している」が34.3%で最多回答。「SDGsには興味・関心がない」が31.0%と3割を超え2番目に高い。  
 年代別でみると、10代では「SDGsの考え方に共感している」の割合が高く、SDGsに前向きであることがわかる。  
 一方で、20代、30代、40代では「SDGsには興味・関心がない」の割合が高くなっている。

問 15 SDGsの17の目標のうち、「自分ごと」として取り組んでみたいと思う目標は何ですか？（3つ選択）

（回答者：335人）

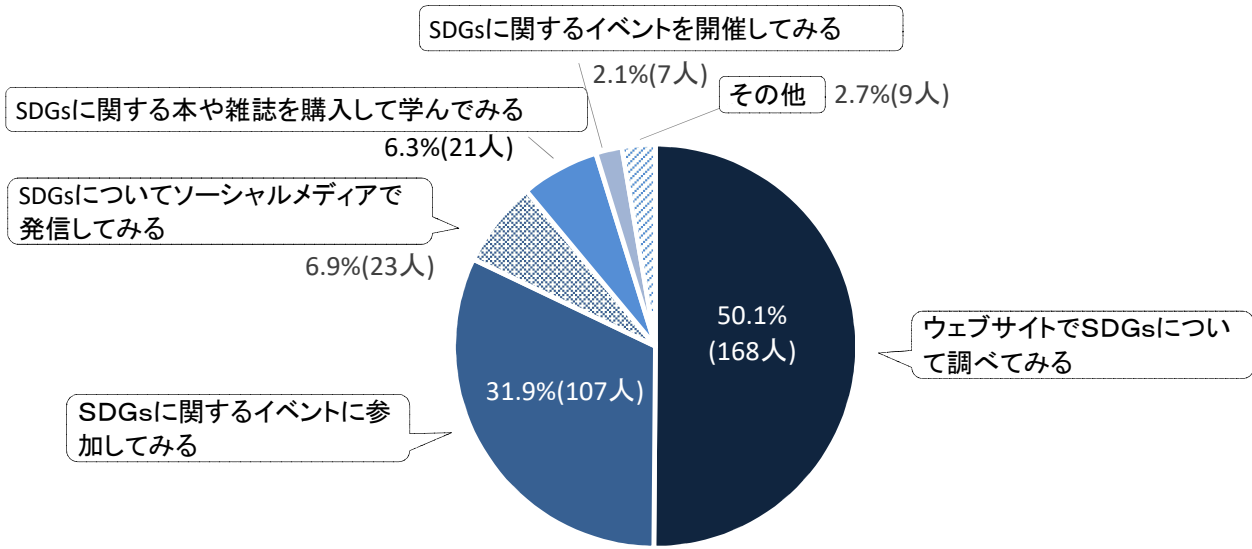


SDGsの17の目標に関して、問7(特に大切だと思う目標は?)、問11(特に取り組んで欲しい目標は?)では、「③すべての人に健康と福祉を」が最多だったが、この設問では「⑪住み続けられるまちづくりを」が最多となった。

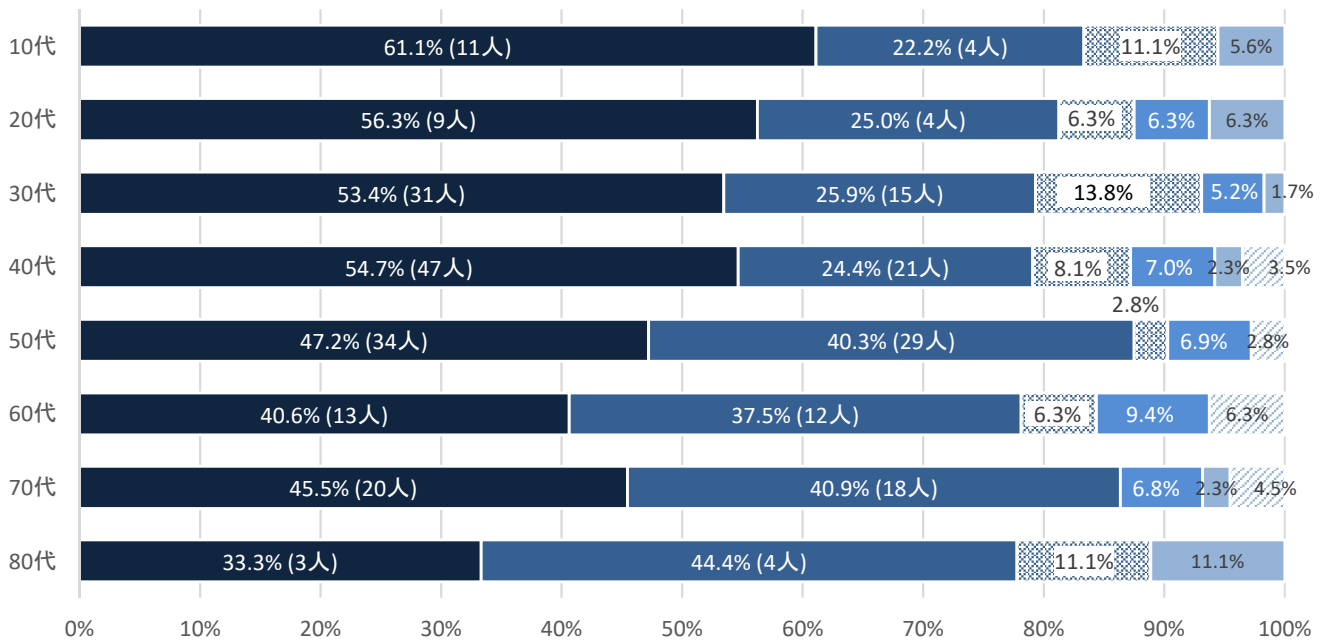
また、問7及び問11では下位(問7では15番目、問11では14番目)であった「⑫つくる責任つかう責任」がこの設問では5番目に高い項目となっており、問7、問11の結果とは違いがみられた。

問16 SDGsの達成に向けて取り組んでみたい事は何か？（1つ選択）

（回答者：335人）

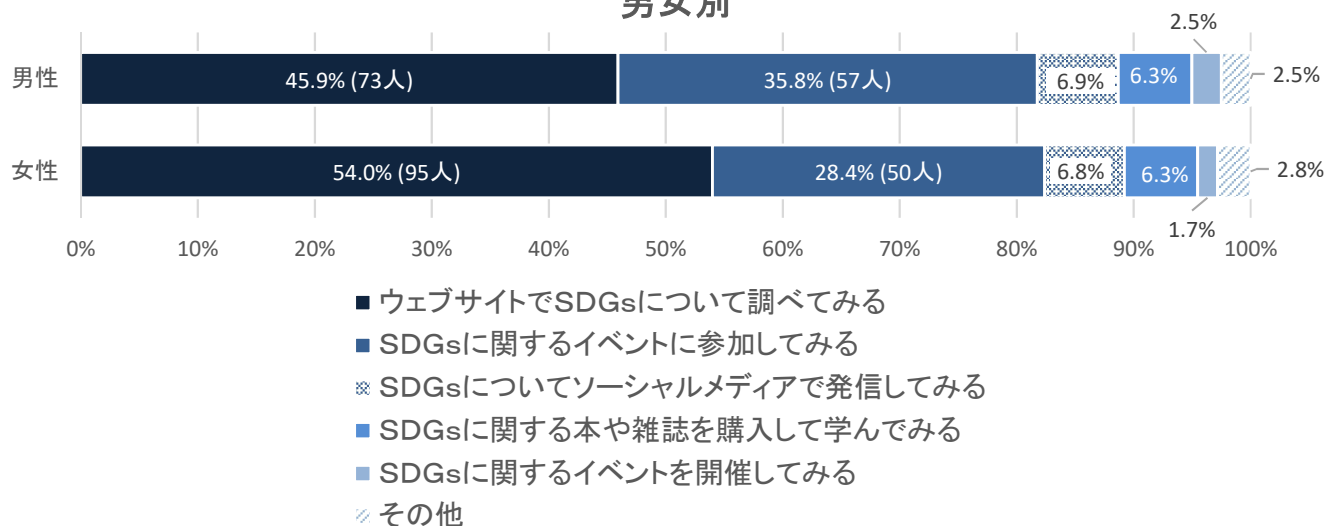


年代別



- ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる
- SDGsに関するイベントに参加してみる
- ※ SDGsについてソーシャルメディアで発信してみる
- SDGsに関する本や雑誌を購入して学んでみる
- SDGsに関するイベントを開催してみる
- 〰 その他

## 男女別



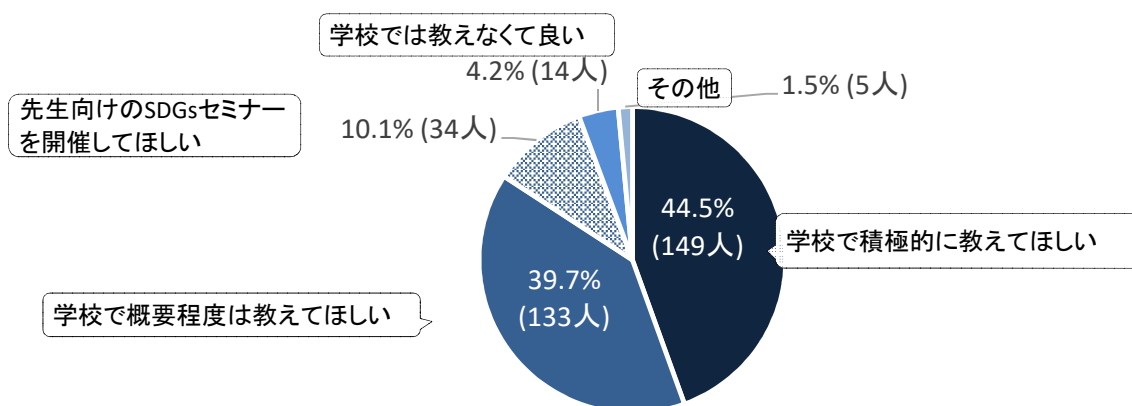
### ※「その他」を選択した方の主な意見

- ・特にない
- ・興味をもてない

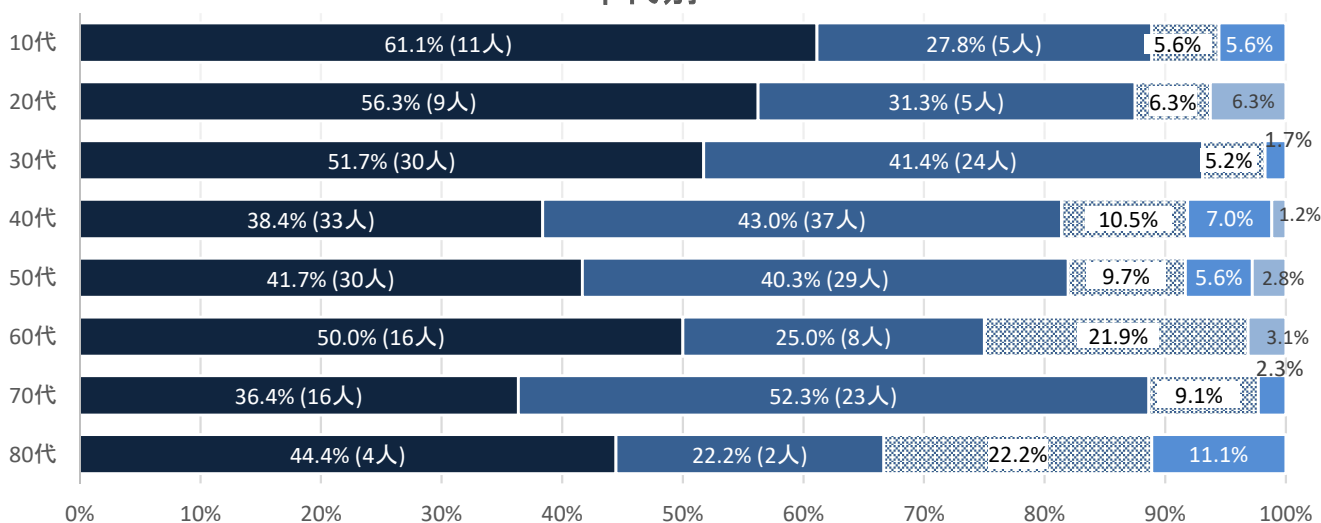
半数(50.1%)が「ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる」と回答。続いて「SDGsに関するイベントに参加してみる」が31.9%となっている。  
年代別で見ると、若年層では、「ウェブサイト上でSDGsについて調べてみる」の割合が高く、高齢層では「SDGsに関するイベントに参加してみる」の割合が高い傾向が読み取れる。

問 17 SDGs についての学校での取り組みについて (1つ選択)

(回答者: 335人)

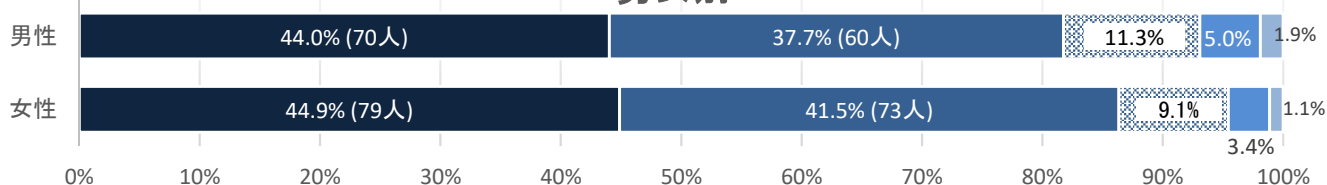


年代別



- 学校で積極的に教えて欲しい
- 学校で概要程度は教えて欲しい
- ※ 先生向けのSDGsセミナーを開催してほしい
- 学校では教えなくて良い
- その他

男女別



- 学校で積極的に教えて欲しい
- 学校で概要程度は教えて欲しい
- ※ 先生向けのSDGsセミナーを開催してほしい
- 学校では教えなくて良い
- その他

「学校で積極的に教えてほしい」が44.5%で最も高く、続いて「学校で概要程度は教えてほしい」が39.7%と続いている。  
 年代別で見ると、10代、20代の若年層では、他の年代に比べ「学校で積極的に教えて欲しい」の割合が高い。

その他、ご意見がございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

(回答者：86人)

## SDGsの認識について

- ・SDGsという言葉が知らなかったの、まずは詳しく知ることから始めてみたいと思いました。(40代・女性)
- ・SDGsについて、言葉は最近聞くようになってきましたが、具体的な内容や取り組みはあまり知りませんでした。今後意識して情報収集や取り組みを考えたいと思います。(40代・男性)

## SDGsのためにやれること、必要なこと

- ・SDGsと言う言葉がわかりにくく、内容も概念的でわかりにくいと思います。リサイクル、資源回収の様に、目に見える活動では何が出来るのかを示して欲しいです。(40代・男性)
- ・今自分が心がけていることや活動していることが、SDGsのどの項目に当てはまるか、チェックできるスケールのようなものがあれば使いたい。おしゃれなカード型で常に持ち歩きできたらいいと思う。(60代・女性)
- ・友達とふと話をしている内容がSDGsの内容に関連していると感じたが、その言葉自体今回初めて知った。もっと認知度が上がれば人々の関心も深まると感じたが。(20代・女性)
- ・身近に感じにくいテーマなので、まだまだ馴染み薄い活動なので、もっともっと具体的な活動を持って、知らせる機会をふやすことが必要と思います。(80代・男性)

## SDGsの周知方法について

- ・学校の図書室にSDGsのコーナーがあったのでそこで知ることができた。市の図書館等でもコーナーを作ってみたら目に留まりやすいかなと思います。(10代・女性)
- ・まず、呼び名がイケていないと思います。日本版のイメージしやすい名称を付けたらもっと意識が高まるのではないのでしょうか？SDGsのうちはとっつきにくいまま変わりませんね。(40代・男性)
- ・SDGsは生きていく上で、極めて重要な取り組み課題だと思います。県内でいち早く取り組んで行く姿勢は見られますが、殆どの市民は分からないと思います。広報は勿論、市民活動ガイドブック等市民が自分ごととして身近なものとして捉えられるように、アピールをする事が大切と思う。(70代・男性)

## その他

- ・SDGsについて明確で具体的な時系列で目標がないとお題目で終わりそうな感じがします。(70代・男性)
- ・SDGsと言う言葉を聞いたことはあるけれど内容はよくわからない人、興味はあるけれど人と話す程の理解はしていないから話せない人、このような人が沢山いると思います。もったいないです。取り組みを分かりやすく、繰り返し説明して頂ける機会や媒体があれば良いですし、また、自分たちの出来ることは何なのかを今以上に具体例をあげて噛み砕いて普及して頂きたいです。(50代・女性)
- ・考え方について共感はしているのですが、なんせ、わかりにくい印象です。SDGsについて考え方は知っていても、じゃあなぜその商品になったのか目的が不明の商品や企画も目にします…大人の私も分からないのに、子どもたちにどう説明すれば良いのか…市からもっと簡潔に発信していただくと助かります！より良い未来のための活動だと思いますので、子どもたちのために協力したいです！(30代・女性)